

## 職員募集中

<b>経理事務職員（パート職員）</b> 【内 容】経理帳票類作成、経理データ入力、庶務その他 【資 格】商業簿記2級以上、経理事務経験者歓迎 パソコン必須 ※会計ソフトを使います。 【勤 務】月曜日～金曜日、8時から16時（休憩1時間） 社会保険加入可、社員登用実績有 【勤務地】山脈本部（吉岡町南下） 【時 給】880円～（3ヶ月の試用期間は850円）賞与有	<b>パン工房「麦のゆめ」スタッフ（パート職員）</b> 【内 容】パン作り、販売・納品、利用者の作業指導など 【資 格】普通自動車運転免許 ※利用者を乗せて移動あり パン製造経験者歓迎、パン好きな方歓迎 【勤 務】月、火、木、金、土（水、日、祝日が定休日） 7時～16時の間で6～7時間働ける方 【勤務地】麦のゆめ（榛東村山子田 しんとうふるさと公園） 【時 給】880円～（3ヶ月の試用期間は850円）賞与有
--	---

<b>キッチンハウスみやまスタッフ（パート職員）</b> 【内 容】お弁当作り全般、利用者の作業指導など 【資 格】普通自動車運転免許 ※利用者を乗せて移動あり 調理業務経験者歓迎、食事作りが好きな方歓迎 【勤 務】月曜日～金曜日、8時から15時（休憩1時間） 社員登用実績有 【勤務地】麦のゆめ（榛東村しんとうふるさと公園内） 【時 給】880円～（3ヶ月の試用期間は850円）	<b>Information</b> <b>ホープ・オブ・ハート テーマは「仲間」</b> 今回で3回目の当事者座談会。今回のテーマは「なかま」です。コロナ対策として、先着15名です。奮ってご参加して下さい。お待ちしております。 日 時 令和3年4月3日（土） 11:00～14:00 場 所 キッチンハウスみやま 昼 食 麦のゆめのパンを予約注文できます。 問合せ キッチンハウスみやま ☎0279-20-5817 （担当：村岡）
---	---



## 新年度(令和3年)度賛助会員募集中！

「山脈」の設立趣旨に賛同し、私達の活動を応援してくれる方を募集します。一口2,000円で何口でもかまいません。昨年に引続き、皆様の温かいご理解とご支援を宜しくお願い致します。

賛助会員 年会費 2,000円(一口)

## 山脈ニュースをお届けします

賛助会員になられた方には、毎月、当法人の活動の内容をお伝えする「山脈ニュース」をお届けします。

**発 行** 特定非営利活動法人 山 脈 理事長 笹澤 繁男

住 所：〒370-3604 群馬県北群馬郡吉岡町大字南下 983-2(みやま工房内)

電 話：0279-54-2947 FAX：0279-54-9171

E-mail：[rep@npoyamanami.jp](mailto:rep@npoyamanami.jp)

URL：<http://www.npoyamanami.jp/>

運 営 就労継続支援B型事業所「みやま工房」

就労継続支援B型事業所「麦のゆめ」

就労継続支援B型事業所「キッチンハウスみやま」

多機能型事業所(生活訓練・就労移行支援)「ワークハウスみやま」

グループホーム「ハーモニーやまなみ」1号・2号・3号・4号・5号・6号

(文責：笹澤賢一)

NPO

法人

# 山脈ニュース

2021.3

No.212

## 2月1日、待望のきょうされん群馬支部が結成されました！

令和3年2月1日、永年の念願であった「きょうされん群馬支部」が結成されました。この誌面にてご報告をするとともに皆さんとこの喜びを心から分かち合いたいと思います。

これまで、きょうされん群馬支部に加盟されている法人及び事業所はそれぞれの経緯や立場から、障がいをお持ちの方々や「その障がいがあるのに重たからおうと、その人格が尊重され、ごく当たり前」に地域で働き暮らせる社会」との理念を掲げ、事業を立ち上げ活動を続けて参りました。そして、この理想を実現するためには、全国の仲間と手を結び、国を動かし社会を変えて行く運動が大切であることを学びました。群馬県に於いては、1977年8月6日の「共同作業所全国連絡会」の結成から18年程の遅れとなりながらも、1995年の(社福)高崎福祉会昭和町作業所の加入を皮切りに「きょうされん」への加入、集結をして参りました。

しかし、当時は、それぞれの法人並びに事業所の横の繋がりは十分ではありませんでした。2012年、みやま工房が「きょうされん」に加入し、併せて群馬県のセンター事業所を担当することになりました。そして、全国総会、全国大会、関東甲信越ブロック会議や行事の殆どに参加するようになりました。そうした中、藤井専務理事にお会いした際には「群馬にも支部を！」との言葉を頂き、更には全国の仲間から寄せられる「支部設立」の期待の中、なんとかしなければとの想いに馳せながらも時は過ぎて行きました。その間、全国ではきょうされん支部の無かった秋田県、更には、静岡県と新たに支部が結成されていく様を目の当たりにし、その想いは更に一段と重いものとなりました。

2017年2月の千葉県で開催された関東甲信越ブロックの研修交流会に、群馬県から(社福)桑の実福祉会、(NPO)サポートハウスなすな、(医療法人)唯愛会、そして、(NPO)山脈の各代表が参加しました。その際に群馬県での法人・事業所の横の繋がりを強めるため、きょうされん群馬県事業所連絡会として年5～6回の会議(集まり)を持つこと決め、実行しました。その後、他の法人や事業所にも呼び掛け、情報交換などを欠かさず続けてきました。特に2019年には、きょうされん創立40周年記念映画「夜明け前」、「星に語りて」の上映運動を成功させようと毎月会議を開きました。そして、前橋市で「夜明け前」、高崎市で「星に語りて」を上映し、共に盛会裡となりました。

この映画の上映運動を通して会員の拡大も進み、2020年4月11日に待望の群馬県支部の結成総会を開催する運びとなりました。そして、その準備も万全に整い、後は当日を待つばかりとなりました。しかし、2020年の年明けから新型コロナウイルス感染症の猛威が襲い、その急激な感染拡大により残念ながら結成総会の延期となりました。その後、2021年2月1日に改めて結成総会の実施を計画しましたが、2021年が明けても新型コロナウイルス感染症の感染拡大の勢いは止まらず、一都三県での緊急事態宣言の再発令、更には、群馬県内における新型コロナウイルス感染症の警戒度が最高レベルの4に引き上げられた状況を鑑み、書面会議での結成総会となりました。

結成はゴールではなく出発点です。「きょうされん」の活動の3つのモットー「ぶれない、媚びない、諦めない」を掲げ、会員全員が荷物を分かち合い、みんなで力を合わせて頑張りたいと思います。

また、「私達の力は微力です。しかし、無力ではありません」、「一歩後退、二歩前進」の言葉の如く、焦らず地道に一歩一歩前進して参りますので、今後とも皆様のご支援を賜るよう宜しくお願い致します。

令和3年2月1日

きょうされん群馬県事業所連絡会 代表 笹澤繁男

## 2月1日、ハーモニーやまなみ、自立生活援助をスタート！

1月中旬、ハーモニーやまなみの入居者のおひとりがグループホームを退所し、アパートで自立生活を始めました。ご本人にとっては待ちに待ったひとり暮らしです。しかし、不安があるのも事実です。そこで、ハーモニーやまなみでは、新たなサービスとして「自立生活援助」を申請し、2月1日付にて事業を開始しました。

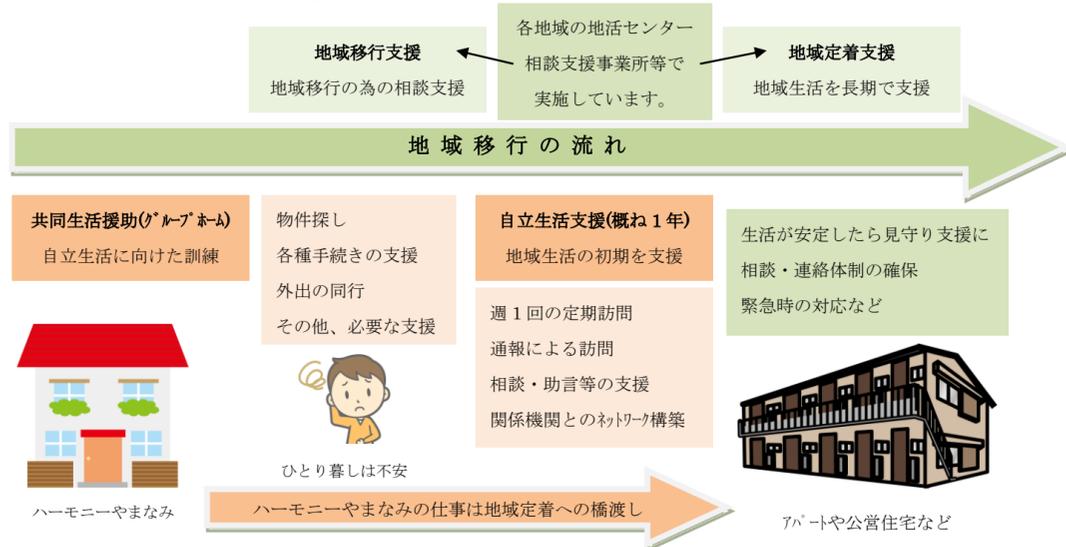
「自立生活援助」は、2018年の報酬改定時に加わった新しいサービスです。アパートなどの居宅でひとり暮らしで生活する障がい者の方に対し、一週間に一回程度、定期的な巡回訪問や随時通報等を受けて訪問し、必要な相談などに対応し、単身生活の定着化を支援するサービスです。期間は、1年間です。

ハーモニーやまなみは、「自立生活援助」を取り入れることで、グループホームからアパート等へ出て、自立生活を希望する入居者の方に対して、物件探しや引っ越しにかかる手続き等の相談など支援を行い、更に退所し新たな生活のスタート、そして、その生活が安定するまでを切れ間なく継続的に支援する体制を整えました。

今後もハーモニーやまなみでは、アパートへの移行を予定している入居者の方もいます。また、山脈が運営する就労系サービスの就労継続支援B型や就労移行支援、生活訓練などに通う利用者の方々の中には、既にご自宅やアパートでひとり暮らしをされている方もいます。そして、そうした方の中にも生活上の不安や困りごとを抱えている人達もいます。しかし、生活が安定しないと、結果的には就労活動の参加もままならない状況になる方もいます。そうした方には、それぞれの就労施設からも訪問支援等を行いますが、生活面の支援までは十分に手が回らないことも多々あります。そうした際には、生活面からの支援サービスの「自立生活援助」を利用していただけると思います。

更には、病院・入居施設等から退院・退所し、地域生活をしようとしている方の中には、一定の支援があれば、アパート等でのひとり暮らしができる方もいます。今までは、選択肢としてグループホームの存在が大きかったと思いますが、「自立生活援助」を受けて地域生活をスタートする選択肢も増えることとなります。

山脈では、障がい者の方々の地域移行を進める上で、「自立生活援助」はご本人のエンパワーメントを最大限に生かすとても有効な福祉サービスだと考えています。是非、病院や入所施設、また、相談支援等で障がい者の方々の地域移行を進めている方は、ハーモニーやまなみの「自立生活援助」も選択肢のひとつに加えて頂けますと幸いです。宜しくお願い致します。



## 新型コロナウイルス感染症に係る支援金で感染対策

新型コロナウイルス感染症の収束がまだまだ見通せない中、山脈では感染対策として国の新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金等を活用し、感染予防対策をとっています。

まずは、感染をしない環境作りということで施設内の空気中のウイルスや細菌を除去するため空気浄化装置「レスパー」を導入し、各事業所の人が集まる空間に設置します。この装置は病院・医療機関や食品工場などに多く導入されていて空気中だけでなく、ドアノブや机などの表面なども浄化できますので、利用者・職員の安全が守られます。

また、職員の働き方についても感染のリスクを抑えるために、オンライン研修や ZOOM 会議等に対応できる環境作りのため、各事業所にカメラ機能付きノート PC を設置しました。オンライン研修や ZOOM 会議については、既に参加をしましたが会場への移動の負担が少ないので、効率よく参加できますので使い方に慣れば新しい働き方として新型コロナウイルスの収束後も定着していくと思いました。

グループホームでも世話人さんの密な業務を回避するためにノート PC を導入しました。世話人さんは、毎朝、グループホームで入居者さんの支援を行ったあと、PC を使った業務日誌の記録とサービス管理責任者への申し送りや引き継ぎの為、法人の事務所に寄ります。各ホームにノート PC を導入し、本部とネットワークを組むことで、事務所に寄らずに業務が出来るようになり、直行直帰で仕事ができるようになります。私たちの仕事は、基本的には利用者さんと直接対面で行いますが、事務的な仕事については ICT の活用により、蜜を回避することができます。今後も山脈はコロナ禍後を見越し、新しい仕事様式を模索しています。



事務所内でオンライン研修に参加



空気浄化装置レスパー

メンバー投稿



### 即興というものについて

作：耕造

文人は紙を目の前にしてペンを持った時、すぐに何かしらの文章をスッと自然に書けなければならない。これは文人であるための条件である。料理人が具材と調理器を目の前にした時、さして考えずに料理ができる。また、解体作業でメンバーが機械とドライバーやペンチを目の前にした時、すぐに解体作業ができる。これを即興というのである。まるで音楽家が楽器を手にした時にすぐメロディーを奏でるのと同じである。

この即興ができるためには、我々は普段いろいろなことをやったり考えたりして努力をしているはずだ。文人であれば普段とても本を読み、とてもいろいろなことを考えている。そして、いつもその条件を満たしていれば、いざ本番の時に体が勝手に動くのである。

人の営為はみな即興である。手先の器用な日本人はこの即興がとても得意な民族である。